

製品名: IFITM1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85689**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.63mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 14 kDa; Observed MW: 14 kDa

抗原情報

遺伝子名	IFITM1
別名	9-27; CD225; IFI17; LEU13; DSPA2a
遺伝子 ID	8519.0
SwissProt ID	P13164
免疫原	ヒト IFITM1 の合成ペプチド

背景

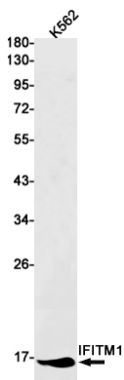
IFN 誘導性抗ウイルスタンパク質。ウイルスの宿主細胞質への侵入を阻害し、エンドサイトーシスは許可するが、その後のウイルス融

合と細胞質へのウイルス内容物の放出を防ぐ。インフルエンザ A ウイルス、SARS コロナウイルス (SARS-CoV)、マールブルグウイルス (MARV)、エボラウイルス (EBOV)、デングウイルス (DENV)、西ナイルウイルス (WNV)、ヒト免疫不全ウイルス 1 型 (HIV-1)、C 型肝炎ウイルス (HCV) など、複数のウイルスに対して活性がある。インフルエンザウイルスヘマグルチニンタンパク質を介したウイルス侵入、MARV および EBOV GP1,2 を介したウイルス侵入、SARS-CoV S タンパク質を介したウイルス侵入を阻害できる。また、細胞接着、細胞増殖および遊走の制御にも関与している。ERK 活性化を阻害するか、p53 依存的に G1 期の細胞増殖を停止させることにより、IFN- γ の抗増殖作用に重要な役割を果たしている。骨芽細胞の分化の正の調節因子として作用します。

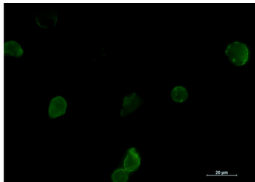
研究分野

-

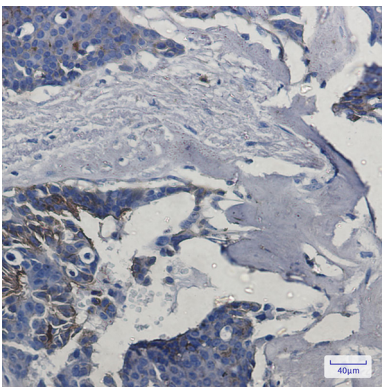
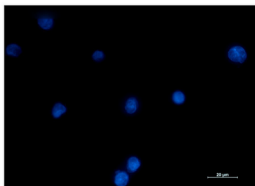
画像データ



IFITM1 抗体を使用した K562 溶解物中の IFITM1 のウエスタンブロット分析。



IFITM1 抗体と DAPI (青) を使用した K562 の IFITM1 (緑) の免疫細胞化学分析。



IFITM1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。

